

マイナンバー制度に便乗した
不審電話などにご注意ください

10月5日に番号法（行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律）が施行され、個人番号の通知が始まりました。現在、それに関連した不審な電話や詐欺などの相談が全国で消費生活センターに寄せられており、今後も増えることが予想されます。



相談事例1

「市役所からです。マイナンバー制度が始まると手続きが面倒になるので、至急、振込先の口座番号を教えてください」という電話がかかってきたが、本当なのか。

相談事例2

「市役所からです。マイナンバーの導入に伴い、個人情報調査中です」と女性が自宅に来て資産や保険の契約状況などを聞かれたが、本当にそのような調査をしているのか。



解説

●国の関係省庁や地方自治体などが個人の口座番号や口座の暗証番号、所得や資産の情報、家族構成や年金・保険の情報などを聞いたり、お金のキャッシュカードを要求することは一切ありません。また、配達員が代金を請求したり、口座番号などの情報を聞いたりすることもありません。

対策

不審な電話がかかってきたら、安易に個人情報などを教えないようにしましょう。おかしいと感じたら、まずは消費生活センターにご相談ください。



問い合わせ先

消費生活センター
（合志庁舎2階 総務課内）
☎（248）5442
相談受付時間
平日 午前10時～午後4時

合志 短歌・俳句の会

登下がり濃霧の中に現れし雉のつがい
の仲睦まじく 藤好クニ子
波しずか夕日に映えし海原をカモメ群
なし帰路を急ぎぬ 奈須 綱子
若き日のオルガン弾きて流したる二人
の涙思ひ出す日の 農 博明
すずかけは冬の木立に還りたりまた新
しき空を抱くため 村井 都子
夕入日に心うばわれ見入りたるわが目
裏に残像消えず 戈藤 葉子
とんび舞う天草の海のどかなり裏腹な
りし世相を想う 安藤 育子
大嵐恵楓園の倒木の余りに無残名残り
惜しけれ 石井満喜子
受話器より幼の高き声響く下の前歯が
ゆらゆらするよ 田上 保子
百日紅雨風に耐え咲きいるは健気を見
せて可愛らしさも 福元 秀子
懸崖の幾百菊花一根に 博 明
初時雨雨にもめげず老人会
高鳴きの鴉に背筋を伸しおり
永国寺護る阿吽に冬の風 都 子
冬紅葉一夜の風に持ち行かれ 百合子
黒ぐろと楹の実垂れて冬さるる クニ子
若みどり勢いありをつまみをり 葉 子
冬ぬくし牛見に来たかちようげん坊 秀 子
大根引く噴煙高く上がりをり 保 子

西合志川柳会 安藤玄白 整理

賛成と大声あげて睨まれた ミヨ
気が多くどれが初恋だったやら 呑気イ
都合はと聞けば言い訳ばかりする 晴 男
神様の都合無視して頼み事 優 一
子供には悩み隠して朗らかに 民 子
朗らかに孫が顔出す年金日 矩 子
道の駅目移りさせる秋の味 範 子
妻の目は口より更にものを言う 千里
ラグビーにノーベル賞に世界の目 正 春
孫がきて頑固親父の目が細い 岳 人
手術する目に紅葉を焼きつける 良 輔
目配せで留守と言わせることもある 玄 白

肥後狂句 西寿えのき会 中原松雪 選

夢のよう 楽しい老後あろうとは ひまわり
夢のよう 絶世の美女に握手され 山 行
むげえもん 自然の猛威にや勝てんばい キー坊
むげえもん どきやん気持で親子刺す マーボー
むげえもん おどま誰の子だったつか チサト
むげえもん 堤防信じ建てたのに 夢 三
よく言うよ 一人で建てた顔しとる うらら
よく言うよ 私がいじめられたほう 昇 風
よく言うよ 育ててもろた恩忘れ 桂 子
虎視眈眈 職人だから負けられん 和 恵
虎視眈眈 なんか失言せんだるか 二日坊
虎視眈眈 俺の財産狙うとる えり子
虎視眈眈 窓の開くのを待っとならす ポン太
注意して 運転しても事故はある 松 雪

人権教育シリーズ ②7

市では人権教育の推進のため、さまざまな活動や啓発に取り組んでいます。ここでは、取り組みの内容や情報を定期的にお知らせしていきます。

西合志東小学校の取り組み

人とつなげ、つながる

人権教育を学校の基盤として

学校は学びの場です。勉強はもちろん、たくさんの人と関わり合いながら人間関係を学ぶ場でもあります。

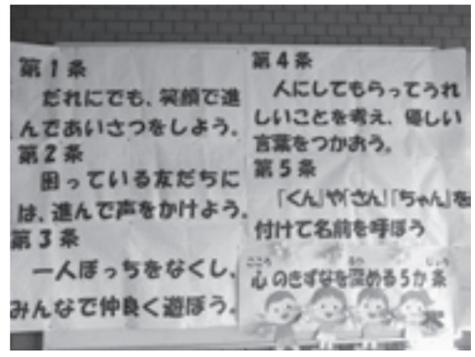
また、教室や学校は安心して過ごせる場であればなりません。そのため本校で取り組んでいる人権教育のいくつかを紹介します。

自分の思いを伝える場
人権教育は、人と人をつなぐ教育です。それは、お互いが友達のことをよく理解し合うということでもあります。そのために、生活ノートや班ノートなどに取り組み、一人ひとりの思いに気づき寄りそうことを大切にしています。

児童が進めるなかまづくり委員会

クラスや学校の課題を出し合い、どうすればよりよい学校になるか話し合い、実践しています。これまでに「暴言・暴力・呼び捨てなくそうキャンペーン」や、学年を超えた「縦割り班遊び」などの取り組みをしてきました。先日の全校集会では、県の小学生会議で決定された「心のきずなを深める5か条」を全校児童に呼びかけました。

自ら考え行動していく力が、いじめ問題の解決はもちろん、部落問題など不合理な差別をなくす原動力となっていくきます。



心のきずなを深める5か条の児童玄関掲示



市人権教育推進協議会学校教育部会の公開授業研究会



水俣に学ぶ肥後っ子教室で主体的に学ぶ5年生

自分を大切に

「みんなちがってみんないい」という金子みすずさんの詩のように、一人ひとりがかけがえのない存在であることを実感できる取り組みも人権教育です。それは、一時間一時間の授業の中で「わかった」「できた！」という言葉を増やしていく取り組みでもあり、クラスや学校で自分は大切にされているという安心感を育むことでもあります。ありのままを認め合えるなかまづくりを目指しています。



全ての児童がわかることを目指した算数授業研究会

このように、人権教育は学校教育の基盤となるものであり、人として生きていく上で大切な教育です。今後も家庭や地域の応援を受けながら、人とつなげ、つながる人権教育の取り組みを進めていきます。